

令和3年度阿仁川での天然アユ遡上調査

【方法】

- ・米内沢頭首工（幅 174m、落差 2.2m）左岸端に設置されている扇形斜路式魚道を通過するアユを目視で係数した。
- ・調査期間は 6 月 1 日より 6 月 30 日までとした。
- ・計数は目視不適な日を除き、毎日午後 1 時から 6 時までとし、毎時 15 分間行った。
- ・計数データを時間あたりに換算し一日の通過尾数を推定した。
- ・また適時投網による採捕の実施を県水産振興センターの協力で行った。
- ・頭首工の水叩き及び魚道最上部に水中カメラの設置し遡上状況の観察を行った。

【結果】

- ・2021 年の通過尾数は 385 千尾で中央値（84.0 千尾）と比較して高水準な遡上量であったと推察された（表 2）。
- ・通過魚の平均体長は 11.3 c m で平年値より 0.6 c m 小さかった（図 1)

表1 時刻毎の魚道通過尾数の割合

時刻	通過割合(%)
8	1.0
9	2.2
10	3.9
11	4.0
12	5.1
13	6.0
14	8.9
15	11.6
16	17.3
17	19.4
18	14.5
19	6.2

秋田県水産振興センター調べ

表2 6月までに斜路式魚道を通過したアユの推定尾数

年	推定通過尾数(千尾)	通過初確認日
2000	467	6月17日
2001	(データなし)	未確認
2002	982	5月29日
2003	0	未確認
2004	0	未確認
2005	28	6月18日
2006	85	6月23日
2007	11	6月24日
2008	83	6月9日
2009	94	6月13日
2010	132	6月17日
2011	18	6月16日
2012	29	6月12日
2013	17	6月13日
2014	309	6月21日
2015	40	6月13日
2016	88	6月15日
2017	380	5月31日
2018	0	6月25日
2019	151	5月27日
2020	385	6月1日
2021	185	6月9日

2019年以前は秋田県水産振興センターのデータ、
2020年以降は秋田県水産振興センターのデータを含む

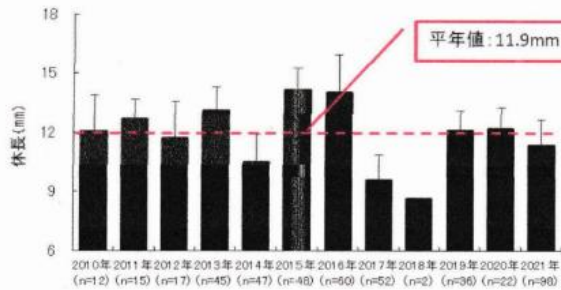


図1 遡上初期のアユの体長

(米内沢頭首工、2019年以前は秋田県水産振興センターのデータ、
2020年以降は秋田県水産振興センターのデータを含む)

頭首工堤体を越す遡上アユ



堤体に跳ねる遡上アユ



投網で採捕した遡上アユ

